Sanyo Onoda SMILE CITY

山陽小野田市　記者発表資料

報道関係各位	発信年月日	令和８年１１月１６日	送付枚数（本紙含む）	１枚

学校名	校長名	担当者職氏名	連絡先電話番号
厚陽小中学校	永田　直子	教頭　川西　均	（0836）74-8318

件名	**山口県初・全国３校の栄誉！「朝の読書大賞」受賞記念企画 小１から中３まで全校で祝う読書フェス「みんなでおいわい！本まつり」**

内　　容

この度、読書推進と文字・活字文化振興に顕著な業績をあげた学校・団体に贈られる「第 19 回高橋松之助記念『朝の読書大賞』」を受賞いたしました。今年度は全国でわずか３校の選出であり、山口県内の学校としては初の受賞となります。

つきましては、これまでの全校での取組を讃えるとともに、児童生徒が本に親しむ楽しさをさらに深める機会として、賞金を活用した受賞記念企画「みんなでおいわい！本まつり」を開催します。ぜひご取材くださいますようご案内申し上げます。

１　開催概要

- **日時**：１１月２６日（木）　１０時４０分～１１時２５分（３校時）
- **場所**：厚陽小中学校　学校図書館
- **対象**：全校児童生徒（小学１年生～中学３年生 計７８名）
- **内容**：**ブックトーク**「講師：横山 眞佐子（**よこやま まさこ**） 氏」
  受賞記念新刊図書の展示・閲覧（横山氏が賞金予算内で選書した新刊図書を机に並べ、児童生徒が自由に手にとって読書を楽しみます）

２　受賞の背景と本校の読書活動の取組

本校では、小中一貫教育の特色を活かし、２年目を迎えた「SLS（Super Language School）」の取組の柱の一つとして、全校体制での読書活動に力を入れています。

中核となる「朝の読書」では、毎朝１０分間、児童生徒と教職員が一体となって自分の読みたい本に向き合っています。「毎日やる」「みんなでやる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」という朝の読書の４つの約束を踏襲しており、校内が静寂に包まれる中で、児童生徒が本の世界に没頭する習慣が定着しています。

朝の読書で培った「本が好き」という土台のもと、児童生徒が主体的に本と関わり合う継続的な実践が高く評価され、今回の大賞受賞につながりました。

なお、受賞賞金（３０万円）のうち２５万円を小中学生向け新刊図書の購入にあて、残りの５万円で英語の絵本を購入し、今後の教育活動に活用する予定です。

３　講師（横山 眞佐子 氏）プロフィール

子どもの本の専門店「こどもの広場」前代表取締役、元梅光学院幼稚園園長。下関市子ども・子育て審議会委員、下関市立美術館運営委員を務める。

FAX 発信者：山陽小野田市協創部シティセールス課
電話（0836）82-1148　FAX（0836）83-9336